



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月25日

上場取引所 東 大

上場会社名 日立化成工業株式会社

コード番号 4217 URL <http://www.hitachi-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 田中 一行

問合せ先責任者 (役職名) CSR統括部 コーポレートコミュニケーショントラナー (氏名) 加藤 淳

TEL 03-5381-2370

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	240,446	△4.8	15,767	△36.9	15,909	△37.8	8,307	△46.1
23年3月期第2四半期	252,498	17.0	24,972	55.5	25,588	71.9	15,406	56.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,607百万円 (△84.9%) 23年3月期第2四半期 10,630百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	39.89	—
23年3月期第2四半期	73.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	429,200		287,766		63.6
23年3月期	432,184		290,311		63.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 272,992百万円 23年3月期 274,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
24年3月期	—	18.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	490,000	△1.5	32,000	△26.4	32,000	△29.0	17,000	△10.3	81.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) 日立化成(中国)投資有限公司、
日立化成工業(南通)化工有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	208,364,913 株	23年3月期	208,364,913 株
24年3月期2Q	114,316 株	23年3月期	113,682 株
24年3月期2Q	208,250,801 株	23年3月期2Q	208,254,067 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(四半期連結損益計算書)	P. 6
(四半期連結包括利益計算書)	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

2011年4月1日から同年9月30日までの連結業績につきましては、売上高は2,404億46百万円(前年同期比4.8%減)となりました。液晶テレビやパソコンの需要減、震災後の自動車メーカー等の減産などの影響により、機能材料セグメント、先端部品・システムセグメントともに、売上は減少しました。その結果、営業利益は157億67百万円(前年同期比36.9%減)、経常利益は159億9百万円(前年同期比37.8%減)、四半期純利益は83億7百万円(前年同期比46.1%減)と前年同期実績を下回りました。

セグメント別の事業の状況は以下のとおりです(各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載)。

機能材料セグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の2.4%減に当たる1,267億18百万円となりました。

① 電子材料

半導体用エポキシ封止材は、パソコンの需要減等により、前年同期実績を下回りました。

半導体用ダイボンディング材料は、競争激化の影響等により、前年同期実績を下回りました。

半導体回路平坦化用研磨材料は、半導体のデザインルールの微細化に対応した製品の売上が増加し、前年同期実績を上回りました。

電気絶縁用ワニスは、自動車向けの需要が減少したため、前年同期実績を下回りました。

② 無機材料

リチウムイオン電池用カーボン負極材は、スマートフォンやタブレットPC向けの需要増に加え、環境対応自動車向けの売上が増加したため、前年同期実績を上回りました。

カーボン製品は、福島第一原子力発電所の事故により設定された警戒区域内に所在する電刷子の製造拠点が操業を停止し、以後、代替拠点での生産等の諸施策を推進しておりますが、前年同期実績を大幅に下回りました。

セラミックスは、半導体製造装置向けの需要増により、前年同期実績を上回りました。

③ 樹脂材料

塗料用樹脂は、自動車向けの需要が減少したため、前年同期実績を下回りました。

粘着フィルムは、液晶ディスプレイの光学シート表面保護用の需要減により、前年同期実績を下回りました。

ディスプレイ用回路接続フィルムは、液晶テレビやパソコンの需要減により、前年同期実績を下回りました。

非接触式ICカード・タグは、アミューズメント分野の需要が増加したものの、公共分野の売上が減少したため、前年同期実績並みとなりました。

④ 配線板材料

銅張積層板は、パソコン向けの需要減により、前年同期実績を下回りました。

感光性フィルムは、スマートフォンやタブレットPC向けの需要が増加したものの、為替の影響を受け、前年同期実績並みとなりました。

先端部品・システムセグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の7.3%減に当たる1,137億28百万円となりました。

① 自動車部品

内・外装成形品、粉末冶金製品は、震災による自動車メーカーの生産停止や稼働率低下を背景に、前年同期実績を下回りました。

摩擦材は、震災による自動車メーカーの減産により売上が減少したほか、福島第一原子力発電所の事故により設定された警戒区域内にある製造拠点の操業停止の影響を受け、代替拠点での生産等の諸施策を推進しておりますが、前年同期実績を大幅に下回りました。

②電子部品

配線板は、携帯電話向けの売上が減少したほか、自動車向けの需要減により、前年同期実績を下回りました。

③その他

電池は、アイドリングストップ車等の環境対応自動車向けに新車用の売上が増加したことに加え、補修用の採用が拡大し、前年同期実績を上回りました。

コンデンサは、欧州での太陽光発電設備への補助金引下げの影響等により、前年同期実績を下回りました。

診断薬・装置は、アレルギー診断薬が堅調に推移したものの、医療機器部品の製造・販売を行う連結子会社の全株式を売却し、事業を譲渡したことにより、前年同期実績を下回りました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から29億84百万円減少し4,292億円となりました。主に有価証券が減少し、流動資産が9億97百万円減少したことによるものです。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から4億39百万円減少し1,414億34百万円となりました。主に災害損失引当金が減少し、流動負債が8億46百万円減少したことによるものです。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末から25億45百万円減少し2,877億66百万円となりました。主に利益剰余金の増加により株主資本が45億30百万円増加する一方、その他の包括利益累計額が64億93百万円減少したことによるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、米欧経済の減速が新興国経済にも波及して外需が大幅に減退し、これと円高とが相俟って輸出の伸び悩みが懸念されるなど、震災後の景気回復が足踏みすることも予想されます。

当社グループは、こうした厳しい経営環境にあっても、生産拠点の再構築等の復興計画を引き続き確実に実行するとともに、グローバル市場への展開の加速、新事業・新製品の拡充、生産技術の向上によるコスト競争力の強化、一層の固定費削減や原価低減等の諸施策に全力を挙げて取り組み、業績の回復に注力してまいります。

なお、通期の業績見通しにつきましては、下記のとおり見直しを行いました。

〔通期〕

	今回予想(A)	前回予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上高	4,900億円	5,100億円	△200億円	△3.9%
営業利益	320億円	400億円	△80億円	△20.0%
経常利益	320億円	395億円	△75億円	△19.0%
当期純利益	170億円	230億円	△60億円	△26.1%

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2011年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,984	37,495
受取手形及び売掛金	106,939	107,937
有価証券	5,691	1,393
製品	16,782	19,812
仕掛品	9,651	9,898
原材料	12,150	13,509
関係会社預け金	56,911	57,019
その他	24,601	24,013
貸倒引当金	△2,559	△1,923
流動資産合計	270,150	269,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,979	39,094
機械装置及び運搬具（純額）	48,961	45,630
土地	18,173	18,576
その他（純額）	13,400	16,659
有形固定資産合計	120,513	119,959
無形固定資産	6,559	6,100
投資その他の資産		
投資有価証券	17,275	16,419
その他	18,501	18,290
貸倒引当金	△814	△721
投資その他の資産合計	34,962	33,988
固定資産合計	162,034	160,047
資産合計	432,184	429,200

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2011年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,741	52,599
短期借入金	12,895	12,792
未払法人税等	6,525	6,182
災害損失引当金	2,461	194
その他	34,021	36,030
流動負債合計	108,643	107,797
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	4,031	4,602
退職給付引当金	16,044	16,084
役員退職慰労引当金	1,339	1,265
その他	1,816	1,686
固定負債合計	33,230	33,637
負債合計	141,873	141,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,454	15,454
資本剰余金	36,113	36,113
利益剰余金	239,422	243,953
自己株式	△188	△189
株主資本合計	290,801	295,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,553	1,052
繰延ヘッジ損益	△41	△633
為替換算調整勘定	△17,358	△22,758
その他の包括利益累計額合計	△15,846	△22,339
少数株主持分	15,356	14,774
純資産合計	290,311	287,766
負債純資産合計	432,184	429,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
売上高	252,498	240,446
売上原価	187,171	185,204
売上総利益	65,327	55,242
販売費及び一般管理費	40,355	39,475
営業利益	24,972	15,767
営業外収益		
受取利息	149	154
受取配当金	164	219
受取ロイヤリティー	684	699
負ののれん償却額	324	—
持分法による投資利益	944	705
その他	1,381	1,041
営業外収益合計	3,646	2,818
営業外費用		
支払利息	289	358
固定資産処分損	394	428
為替差損	994	1,081
その他	1,353	809
営業外費用合計	3,030	2,676
経常利益	25,588	15,909
特別利益		
固定資産売却益	—	661
特別利益合計	—	661
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	620	—
災害による損失	—	1,164
特別損失合計	620	1,164
税金等調整前四半期純利益	24,968	15,406
法人税等	8,495	6,440
少数株主損益調整前四半期純利益	16,473	8,966
少数株主利益	1,067	659
四半期純利益	15,406	8,307

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,473	8,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△709	△527
繰延ヘッジ損益	271	△1,060
為替換算調整勘定	△5,084	△5,598
持分法適用会社に対する持分相当額	△321	△174
その他の包括利益合計	△5,843	△7,359
四半期包括利益	10,630	1,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,645	1,814
少数株主に係る四半期包括利益	985	△207

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2010年4月1日 至 2010年9月30日）

(単位：百万円)

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 へ の 売 上 高	129,785	122,713	252,498	—	252,498
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,294	241	4,535	(4,535)	—
計	134,079	122,954	257,033	(4,535)	252,498
セグメント利益	18,577	6,402	24,979	(7)	24,972

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 2011年4月1日 至 2011年9月30日）

(単位：百万円)

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 へ の 売 上 高	126,718	113,728	240,446	—	240,446
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,540	175	4,715	(4,715)	—
計	131,258	113,903	245,161	(4,715)	240,446
セグメント利益	13,302	2,493	15,795	(28)	15,767

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし